

食品中混入成分のスクリーニング検査

食品中に農薬・薬物が混入していないかを高精度に分析します

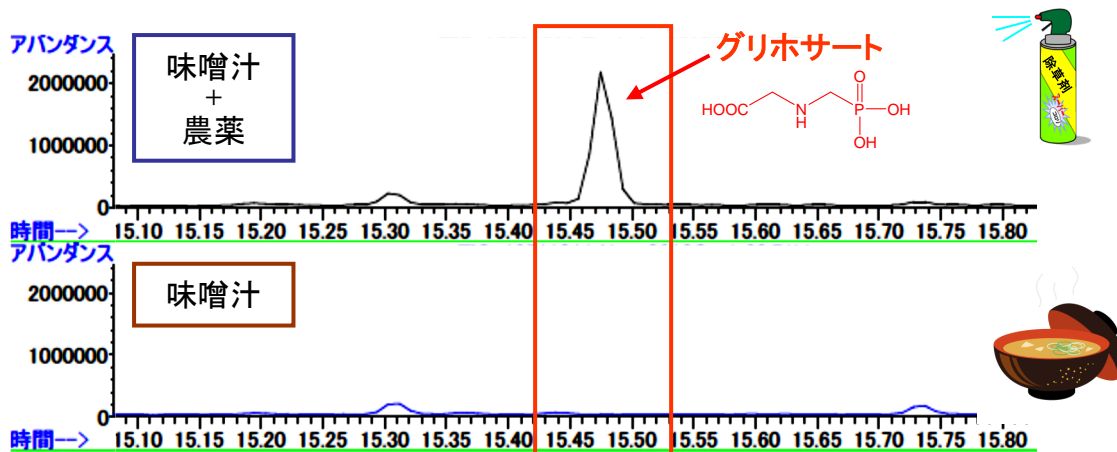
測定法 : LC/MS・GC/MS
 製品分野 : 食品・医薬品
 分析目的 : 製品調査・組成評価・同定

概要

食品への異物混入事件が度々世の中を騒がせており、平成26年1月に実施された内閣府の「消費者行政の推進に関する世論調査」で最も関心が高い消費者問題は「食品の安全性」という結果となりました。食品の安全性を担保するためにMSTでは原因調査のための精度の高い分析を行っており、食品中に一日摂取許容量以上に農薬が混入しているか否かを判別することが可能です。除草剤グリホサートを少量添加した味噌汁を分析した結果、混入成分を見落とすことなく検出することができました。

データ

■農薬を味噌汁に添加して分析した事例



■検査対象成分の一例

農薬等 * 一日摂取許容量(ADI)を検出下限値に設定			
殺虫剤 ● クロルフェナビル ● イミダクロプリド	殺菌剤 ● シアゾファמיד ● トリホリン ● クロロタロニル(TPN)	除草剤 ● グリホサートカリウム塩 ● グリホサートイソプロピル塩 ● 4-クロロ-2-メチルフェノキシ酢酸(MCPA)	
医薬品等 * 各成分の装置感度に基づいて検出下限値を設定			
かぜ薬 ● アセトアミノフェン ● エフェドリン ● ジヒドロコデイン	睡眠薬 ● エチゾラム ● プロマゼパム ● ゾルピデム	糖尿病治療薬 ● グリベンクラミド ● グリメピリド ● グリクラジド	高血圧治療薬 ● アムロジピン ● カンデサルタンシレキセチル ● カルベジロール

* 検査対象成分については別途ご相談ください

分析サービスで、あなたの研究開発を強力サポート!

一般財団法人
MST 材料科学技術振興財団

TEL : 03-3749-2525 E-mail : info@mst.or.jp
 URL : <http://www.mst.or.jp/>